



「とよた市民の会」会報 第5号発行にあたり

平成24年10月に発行しました豊田市議会「とよた市民の会 会報」第4号に続き、第5号を発行するにあたり、ごあいさつを申し上げます。

「とよた市民の会」は、現在、所属議員は私ひとりです。しかし、議会でも市民本位の市政実現を目指す存在感のある会派として活動してまいります。

そこで、今後も年に一度、会派広報紙である「とよた市民の会 会報」を発行し、市民の皆様にさまざまな情報を発信してまいります。また、皆様の生の声を発信する場としても、本紙を活用していきたいと思っております。

市政、市議会ならびに本会報に対するご意見、ご要望、ご質問等がございましたら、お気軽にお寄せください。よろしく願い申し上げます。

豊田市議会「とよた市民の会」代表 岡田 耕一

とよた市民の会 9月議会 主な議案等への対応

賛成

工事請負契約の変更（豊田大橋橋りょう耐震補強・補修工事）ほか

反対

国に対し「消費税増税中止を求める意見書の提出を求める」請願書

本議案は、43名全会一致で可決

本議案は、国土交通省や愛知県から通知のあった「平成25年度公共工事設計労務単価」の運用特例措置に関する議案。平成24年度と比較して全職種単純平均で15.1%の引上げとなり、個別事案の契約金額では、豊田大橋橋りょう耐震補強・補修工事は1,500万円、4.9%増、一級河川安永川開水路整備工事は2,200万円、3.3%増となった。これらの契約変更は、公共事業の増額であり、本市の財政事情からすれば、決して喜ばしいことではない。しかし、これらの増額が、労働者の賃金等に反映され、「※官製ワーキングプア」の解消につながるとも言える。今回の増額が、どのように労働者の賃金に反映されていくかを確認、指導するなど、市当局の適切な対応を期待する。※自治体が発注することで生じている「働く貧困層」

本請願は、40対3の反対多数で不採択

私は消費税増税より所得税や法人税、相続税などの直接税を増税すべきと考える。つまり、大企業や富裕層など、担税力のあるところの税負担を増やすことが望ましい。ただ、平成25年度末の国債等の債務残高が1,036兆円を超え、国際的な信用の面からも財政の抜本的な改革が必要で、増税も大企業などだけでは、到底、解決できないと考える。低所得者層の負担軽減は必要だが、次世代の社会を考えれば、増税を速やかに行い、未来の子どもたちへの負債負担の押しつけは早急にやめるべきだ。また、増税分を全て社会保障に回すなど、今を暮らす人々のためだけに税を使うのではなく、増税分を国債の早期償還、国債発行のさらなる抑制に回す。こうして、次世代に負担を押しつけることやめるべきだ。

豊田市議会主催 地域市議会報告会&議会シンポジウム が開催されます

どの会場にかかわらず、参加無料、自由参加、申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

*****地域市議会報告会*****

日時：①平成25年11月9日(土) 10時～
②平成25年11月9日(土) 14時～
会場：①上郷交流館ふれあいホール
②旭交流館大会議室
内容：★9月議会における主な議案説明
★意見交換会

*****市議会シンポジウム*****

日時：平成26年1月26日(日) 14時～
会場：崇化館交流館 大会議室
内容：教育次世代委員会が所管する市の施策に関するテーマ



ようこそ とよた市民の会へ

広報とよた・市議会だよりでは伝えない 数字から見る24年度決算

平成25年9月定例会
決算審査から
わかったこと

議会報告

☆ 豊田スタジアムについて 維持管理の費用はどのくらい？

管理運営する(株)豊田スタジアムに支払う指定管理料は、年間に約6億7,300万円。主な内容は、人件費、芝生や設備の管理経費、光熱水費など。施設整備費全体の決算額は、約2億7,100万円。主な内容は、発電設備の部品等の更新などが約1億7,200万円、開閉屋根の修繕費が約4,000万円。

豊田スタジアムの収支はどうなっているの？

平成24年度の歳出総額が約10億1,000万円、使用料収入が約8,900万円。差し引き約9億2,100万円が年間赤字額となる。



スタジアム修繕計画はどうなっている？

現在、平成26年から平成44年度までの機能維持に必要な修繕計画を検討している。具体的には、現在、不具合がある部分について、緊急度や重要度をもとに優先度をランクに分けするとともに、費用が高額となる、開閉屋根の部品の更新、固定屋根の塗装、コンコースの床の塗り替え、スタンドの防水、外溝の段差解消、発電設備の部品交換などは、費用の平準化を図るために、年度ごとの計画を検討した。今後、より精査し、市としての修繕計画を策定していきたい。

おかだ耕一の意見 委託業者が積算した修繕計画の総費用を市は理由も言わず出せないと言っているが、それなら、市としての額も明示した修繕計画を早急に策定し、市民に示すべきと考える。

☆ 病児・病後児保育施設について 利用実績と執行金額は？

	病児保育		病後児保育	合計
	すくすくこどもクリニック 「すくすくの森」	厚生病院 「びよっこ」	丸山こども園 「おひさま」	
H24利用者	608人	602人	9人	1,219人
H24委託費	約1,360万円	約1,360万円	約750万円	約3,480万円
1人あたり費用	約22,000円	約22,000円	約83万円	約28,000円

前向きに検討していただいたクリニックによる開設は断念されたが、他のクリニック、医師会に対する本市からの要請活動は？

平成24年度に医師会及び個別の病院に要請を行っているが、前向きな回答をいただける施設がない状況。引き続き、新設に向けた働きかけを行う。



☆ 「子ども医療助成費」について

医療助成費のうち、医科歯科の診療分と調剤分に分けて、現行制度導入前の平成19年度と24年度と比較すると？

平成	診療分	
	助成件数(件)	助成額(円)
19年度	321,000	9億1,000万
24年度	637,000	16億3,000万

平成	調剤分	
	助成件数(件)	助成額(円)
19年度	141,000	1億6,000万
24年度	325,000	4億3,000万

おかだ耕一の意見 中学校卒業までの医療費無料化は、子育て家庭の経済的負担軽減と早期発見・早期治療にもつながると高く評価する。しかし、医療関係者の情報によると、無料対象者を拡大したことにより、本来、受診すべきではない患者まで、医療機関に押しかけ、それにより、医療資源の浪費と、本来、急いで受診すべき患者の診察が遅れるという問題が指摘されている。初診は無料にしてもそれ以降は、1割負担とするなど見直しは必要と考える。

市政に関するさまざまな疑問、質問、要望、情報等お気軽にお寄せください。

発行会派／豊田市議会とよた市民の会
豊田市西町3-60 豊田市議会内
TEL/34-6665 内線 (38068)
FAX/34-6566

連絡先

《発行責任者》
岡田 耕一 豊田市宝来町4-758-141
TEL/090-1752-7529 FAX/88-9194
http://www.ko1.org/ E-mail:okada@ko1.org